

核燃料サイクル施設の環境・安全関係の活動

情報交換会2022

令和4年6月4日

東京大学 環境安全本部 客員研究員

金盛正至

所属組織などBackground

- 早稲田大学大学院（原子核）修士
- 動力炉・核燃料開発事業団（現日本原子力研究開発機構）
放射線計測、放射線管理
- 安全部 安全管理課長
再処理、高速炉などの安全評価、安全管理
- 東海事業所 プルトニウム燃料センター 技術部長
新型原子炉用燃料製造
- 日本原子力研究開発機構(JAEA) 執行役
安全評価・防災対策
- 札幌医科大学医学博士

- 日本原燃株式会社 (再処理事業部) 理事
- 日本原燃分析株式会社 代表取締役
- 東京大学 飯本研究室 研究員
- 現 次世代エネルギー・環境研究開発機構 理事長

- 国際活動

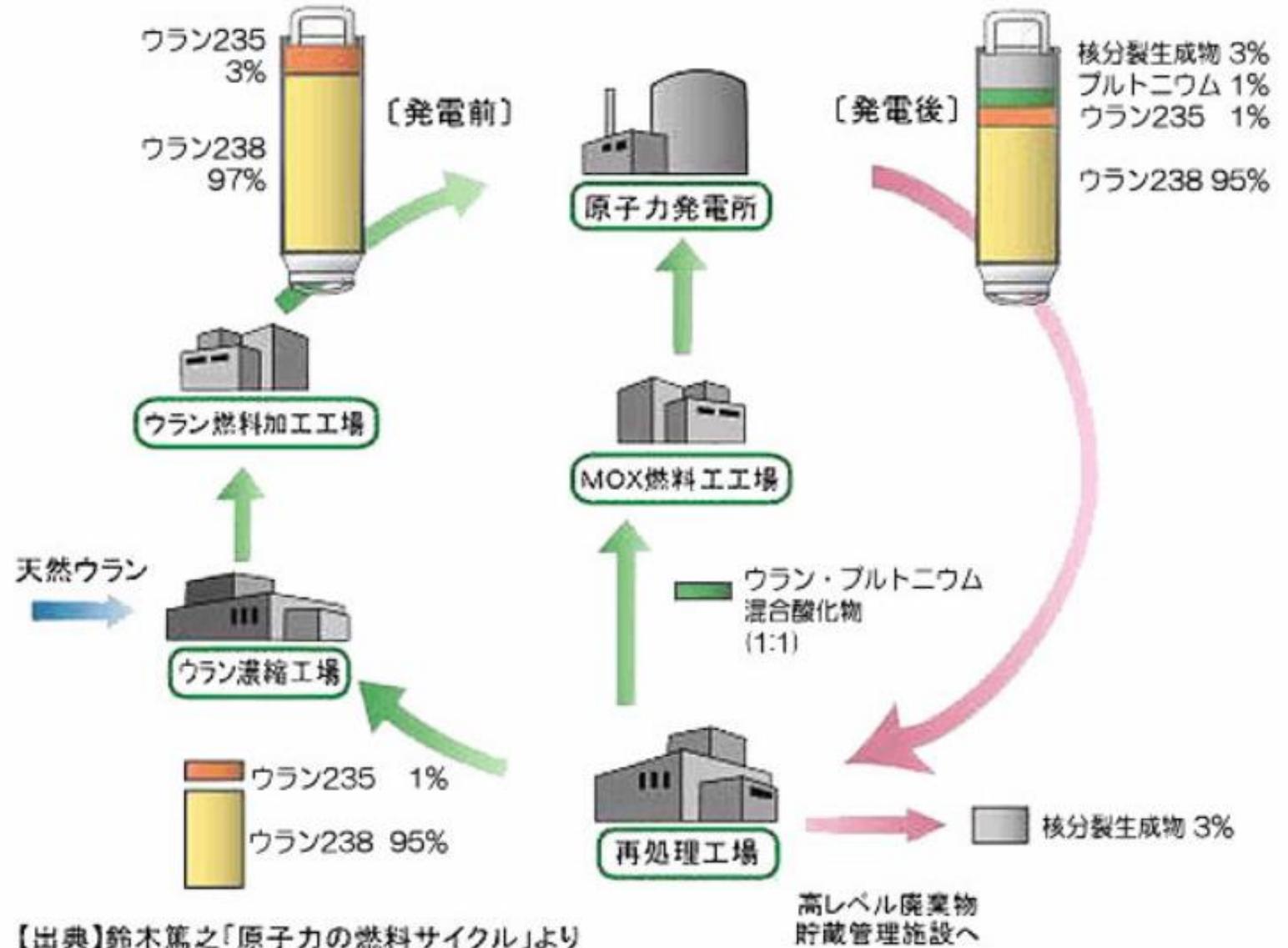
- 1992年 国際原子力機関IAEA 国際原子力事象尺度策定委員会 委員
- 1998年 経済協力開発機構OECD/CSNI/FCS 核燃料サイクル WG 議長

原子力・放射線利用の持つ意味

- 資源のない国、準国産エネルギー源の可能性
- 科学技術の発展（CT等）
- 環境対策（二酸化炭素削減）

ウランとプルトニウムの活用

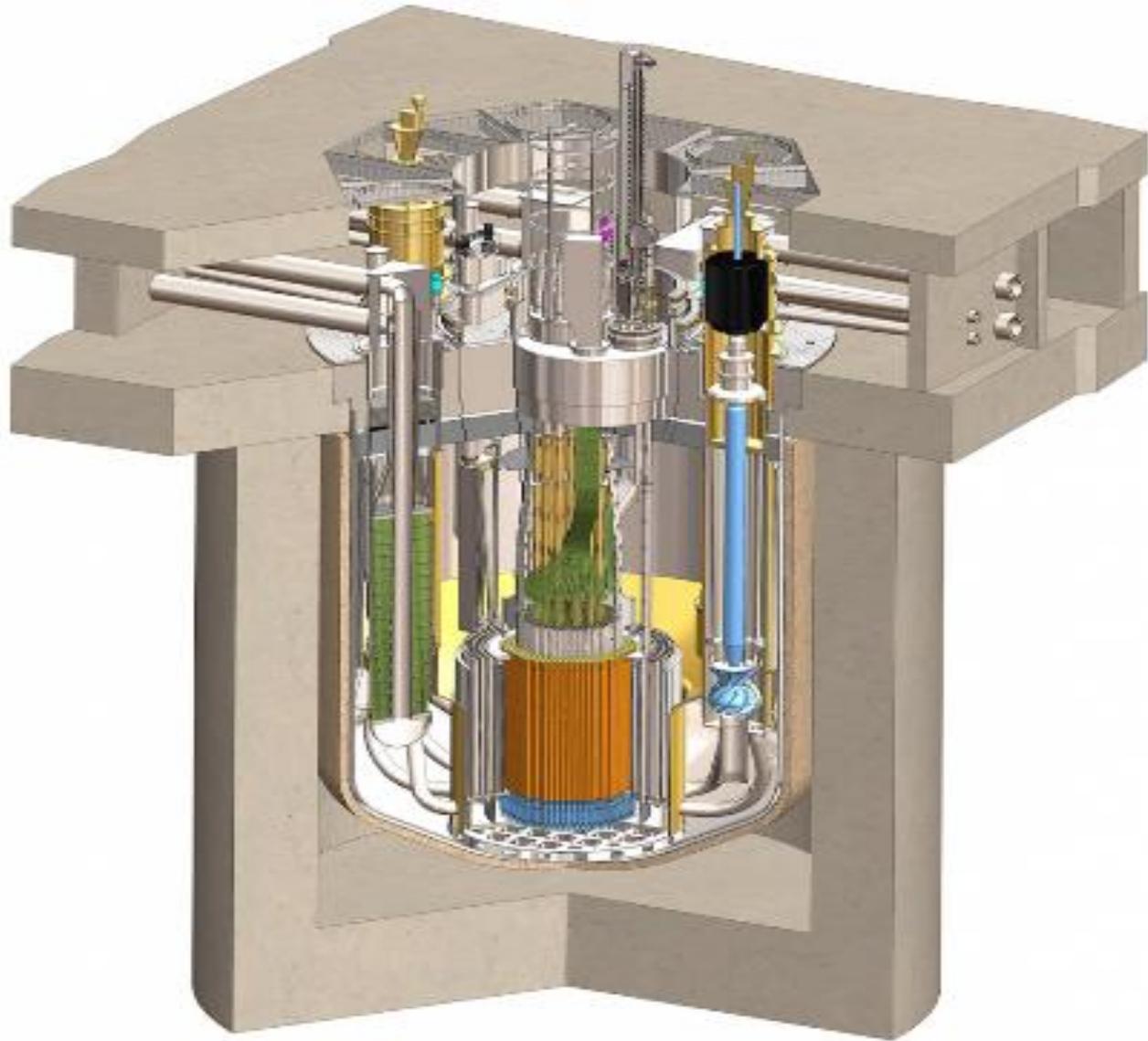
ウラン燃料の燃焼による変化と再処理



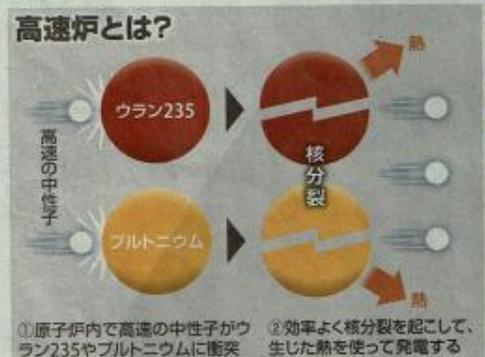
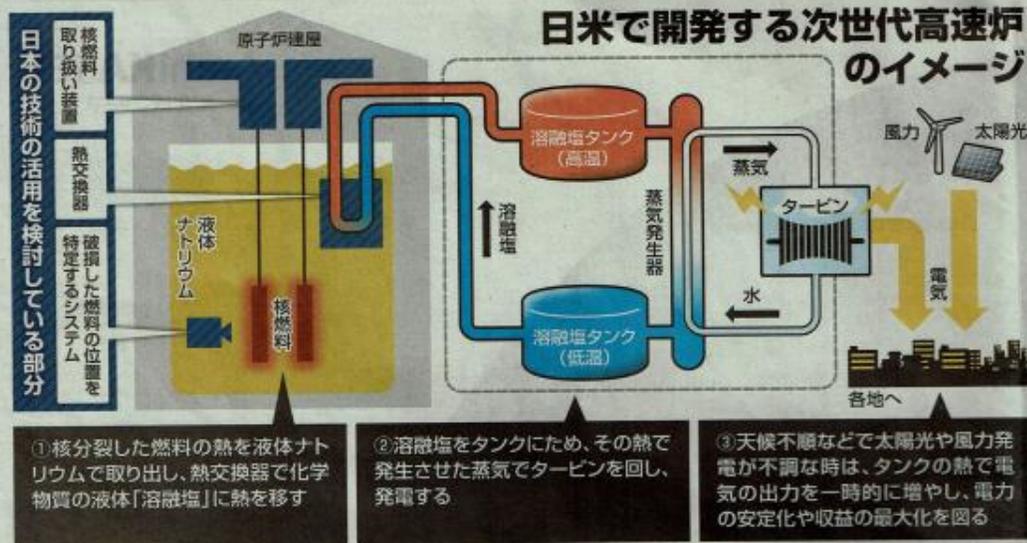
日本原燃六ヶ所村再処理工場



Terra Power社ホームページより



読売新聞では1月1日から記事

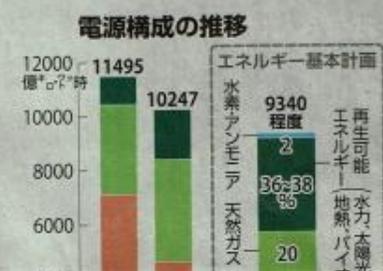


電力安定供給に不透明感

ロシアのウクライナ侵攻を受け、日本の電力供給は不透明感が増している。石炭輸入の11%、液化天然ガス(LNG)の9%、石油の4%がロシアからで、政府はエネルギー分野でもロシアへの経済制裁を強化している。

もともと2011年3月の東日本大震災後、日本の電力状況は綱渡りの状態が続いてき

ウクライナ情勢



経験や技術だ。94年に初臨界したもんじゅは、翌年にナトリウム漏れ事故が起きるなどトラブルが続出し、2016年に廃炉

経験や技術だ。94年に初臨界したもんじゅは、翌年にナトリウム漏れ事故が起きるなどトラブルが続出し、2016年に廃炉

経験や技術だ。94年に初臨界したもんじゅは、翌年にナトリウム漏れ事故が起きるなどトラブルが続出し、2016年に廃炉

